

【取組事例集】

文化施策に関する取組事例集

次世代への文化の継承、担い手の育成について

指定都市市長会 子ども・教育・文化部会

令和5年11月20日

目次

札幌市 1	名古屋市 20
仙台市 3	京都市 22
さいたま市 5	大阪市 23
千葉市 7	堺市 24
川崎市 9	神戸市 26
横浜市 11	岡山市 28
相模原市 12	広島市 30
新潟市 14	北九州市 32
静岡市 16	福岡市 33
浜松市 18	熊本市 35

次世代への文化の継承、担い手の育成について

札幌市

子どもの文化芸術体験事業の実施

子どもが優れた文化芸術に触れる機会の充実を図り、創造性を育むことを目的とし、小学生を対象として各種文化体験事業を実施

- **Kitaraファースト・コンサート事業**
小学6年生を対象に、世界に誇る音楽専用ホールKitaraで、プロオーケストラの生演奏を鑑賞（R4実績：244校16,176人）
- **ハロー！ミュージアム事業**
小学5年生を対象に、札幌芸術の森美術館等で、子ども達に鑑賞マナーの学習機会や鑑賞・創作活動の体験機会を提供（R4実績：192校13,622人）
- **おとどけアート事業**
小学校にアーティストを一定期間派遣し、子ども達がアーティストとともに創造活動に関わる機会を創出（R4実績：3校1,346人）
- **子どものミュージカル体験事業**
小学校6年生を対象に、劇団四季ミュージカルの鑑賞機会を提供（R4実績：新型コロナウイルス感染症の影響により中止）
- **ニッセイ名作シリーズ(R5新規事業)**
小学4年生を対象に、日生劇場が制作する多様な舞台公演の鑑賞機会を提供

・Kitaraファースト・コンサート事業



・ハロー！ミュージアム事業



1

次世代への文化の継承、担い手の育成について

札幌市

文化芸術の担い手を育成する取組

サッポロ・シティ・ジャズ

- **パークジャズライブ**
全国からミュージシャンを募集し、市内10会場で無料ライブを実施。運営には多くの市民ボランティア「ジャズセーバーセーズ」が参加。（R4入場者数：21,429人）
- **札幌ジュニアジャズスクール**
小中学生を対象とする通年型ジャズスクールを開催（R4参加児童数：37人）
- **ユニバーサルジャズライブ**
障がいの有無に関わらず誰でも楽しむことができるジャズライブを開催。（R4入場者数：185人）

・札幌ジュニアジャズスクール



さっぽろアートステージ事業

芸術の秋と言われる11月に様々なアートイベントを開催。子ども・学生を含め、文化団体や個人に発表の場を設けることで文化活動の担い手育成機会・環境を創出

ユネスコ・メディアアーツ創造都市ネットワーク活用事業

- **初心者向けCG制作ワークショップ**
若手市民を対象に、初心者向けCG制作ワークショップを実施。参加者制作の3Dモチーフをひとつの映像作品に組み込み、メディアアーツとして街なかで放映

・初心者向けCG制作ワークショップ



2

次世代への文化の継承、担い手の育成について 仙台市

伝統文化を体験する事業の実施

- **民俗芸能のつどい**
青少年が民俗芸能の上演を通し、地域の伝統文化を体験・継承する機会を提供。昭和60年から原則年1回開催し、令和4年度で35回目を迎えた。
- **せんだい伝統文化フェア**
こどもが茶道、郷土料理、伝統工芸等を体験できるイベントの開催。令和4年度は、延べ550人が参加。
- **こどものための能講座**
4歳から15歳までを対象とした能の稽古(謡と仕舞)を体験する講座。稽古6回を経て、最終日には発表会を行う。



せんだい伝統文化フェアの実施風景



こどものための能講座の発表会

「楽都仙台」の担い手の育成に資する事業の実施

- **仙台ジュニアオーケストラ**
小学5年生から高校2年生、約100名によるオーケストラを運営。仙台フィルハーモニー管弦楽団の楽団員が講師を務め、年2回の演奏会を中心に活動。
- **青少年のためのオーケストラ鑑賞会**
市内の小学5年生と中学1年生を対象に、ホール施設で仙台フィルハーモニー管弦楽団のオーケストラ公演を鑑賞する事業を実施。毎年、1万人あまりの児童生徒が鑑賞。
※令和2～5年度は、コロナ禍の状況を踏まえ、代替として、少人数の楽団員による学校訪問ミニコンサートを実施。



仙台ジュニアオーケストラの演奏会

3

次世代への文化の継承、担い手の育成について 仙台市

学校等に芸術家や専門家を派遣する事業の実施

- **芸術家派遣事業**
市内の学校等へ芸術家を派遣し、音楽、演劇、伝統芸能など、子どもたちへ質の高い文化芸術を鑑賞・体験する機会を提供する事業。令和4年度は122件の派遣を実施。
- **出前授業**
経験豊かな文化財専門職員や文化財課所属の教員が講師として学校に訪問し、地域にある身近な素材(出土遺物や建造物等)を活かした授業を実施(令和4年度実績 72校 延べ6, 211人)。
【新たな文化財学習の取り組み】
 - **発掘現場とのLIVE中継**
情報端末を活用し、出土した遺物や検出された遺構をリアルタイムで解説。児童生徒の疑問や質問にも対応し、知的欲求に対してタイムラグのない特別な学びを提供。
 - **先端技術を活用した学びの推進**
史跡仙台城跡をテーマにしたVR教材を作成し、6月から市内協力校での試作運用開始。情報端末上における体験の幅を広げ、文化財への興味・関心の一層の喚起を図る。
 - **仙台版キャリア教育「仙台自分づくり教育」を意識した授業の実践**
発掘調査の仕事の紹介、働いている人の思いをテーマに、将来の社会的・職業的自立に必要な態度や能力について考えさせる。
また、実際に遺物整理作業を体験してもらうことで、文化財を守るための技術等について実感を伴った理解を促す。



芸術家派遣事業



LIVE中継授業の風景

4

次世代への文化の継承、担い手の育成について

さいたま市

伝統文化を体験する事業の実施

- **こども向け歌舞伎講座付きシネマ歌舞伎上映会**
小学生を対象とした、歌舞伎俳優による歌舞伎基礎講座や実技講座、演目解説ののち、シネマ歌舞伎を上映する事業を開催。
- **さいたま伝統芸能普及フェスティバル**
体験教室を開催しながら、木遣やお囃子などの地域の伝統芸能を紹介する事業を開催。
- **華道・茶道体験教室**
地域の華道・茶道団体を講師に迎え、園児及び小学生を対象に体験教室を開催。
- **子ども邦楽体験「お囃子の体験と鑑賞会」**
小学生を対象とした、歌舞伎のお囃子体験を開催。



松竹株式会社との共催による
こども向け歌舞伎講座付きシネマ歌舞伎上映会

音楽文化に触れる機会の提供

- **プライマリーコンサート**
プロの演奏家を市内の小中学校へ派遣して小編成のコンサートを開催。
令和4年度は15校にて開催し、児童2,988人が鑑賞。

若手アーティストの育成

- **ジュニアソロコンテスト**
市内の小中学生を対象とした管楽器、打楽器、コントラバスの実演形式による独奏コンテストを開催。
令和4年度は309人が出場。

5

次世代への文化の継承、担い手の育成について

さいたま市

盆栽文化に触れる機会の提供

- **出張盆栽授業**
市の伝統産業である盆栽について、小学生を対象とした、盆栽及び大宮盆栽村に関する講義を実施するとともに、盆栽作りを体験。
完成した盆栽は、授業内容を掲載したパネルとともに大宮盆栽美術館ロビーに展示。



出張盆栽授業にて作成された盆栽の展示



文化施設での校外学習

- **校外学習の受入**
市内の小中学校を中心に、校外学習等の授業の一環としての見学を実施。
大宮盆栽美術館では、令和4年度に17校の校外学習を受け入れ、約1,200人が見学。
岩槻人形博物館では、令和4年度に14校の校外学習を受け入れ、約1,300人が見学。



岩槻人形博物館での校外学習

6

次世代への文化の継承、担い手の育成について 千葉市

伝統文化や歴史を学び、継承する事業

- **無形民俗文化財助成事業**

市内の郷土芸能保存団体に補助金を交付し、郷土芸能の披露や用具の補修、地元の子供たちを含む後継者の養成等の伝承活動を支援。

【令和4年度実績】対象=5団体
参加延べ人数=2,516人

- **埋蔵文化財を活用した学校等への出前授業**

市内小学校等へ職員が出向き、地域の遺跡等の紹介や火おこし、縄文土器に触れるなどの体験講座を実施。

【令和4年度実績】利用数=49校 参加人数=3,374人

- **郷土の歴史に関する小中学校への出前授業**

郷土の歴史について、エドゥケーターが市内小中学校に出向き、博物館収蔵資料等を用いて、学習カリキュラムに合わせた授業を実施。

【令和4年度実績】利用数=11校 参加人数=1,045人



八剱神社の神楽(市指定)



郷土博物館出前授業

7

次世代への文化の継承、担い手の育成について 千葉市

市内で開催される文化芸術イベントとの連携・協力

- **大規模野外音楽フェスへの出場をかけたアーティストコンテスト**

市内で開催され、約15万人を動員する野外音楽フェス「JAPAN JAM」への出場権をかけた若者を対象としたオーディションを実施。

- **音楽とアートが融合したプロジェクト「MICUSRAT(マイクスラット)」**

市内で開催される音楽フェス「SUMMER SONIC」と連携し、文化庁が音楽とアートが融合する大型インスタレーション展示を開催。まちの中でアートに触れる機会を創出。

芸術家の協力を得て文化芸術に触れる機会の提供

- **未来への夢を育む音楽芸術体験教室**

市内の小中学校に芸術家を派遣し、オーケストラ・邦楽・能楽・声楽の鑑賞及び体験活動を提供することで、市内の伝統音楽や音楽文化への興味や理解を深め、子どもたちの情操を育てる。令和4年度は市内中学校の26校で実施。

- **体験・創造ワークショップ**

芸術家が講師となり、小学3年～6年生(約100人)を対象として、メディア芸術をテーマに影絵制作やオリジナルの駄菓子デザインなどのワークショップを開催。

- **子どもアトリエ「つくりかけラボ」**

千葉市美術館において、アーティストが滞在制作し、訪れた人々とワークショップ等で関わりながらインスタレーションを作りあげていく表現の場。



JAPAN JAM 2023ステージの様子



MICUSRAT(見浜園における展示)



体験・創造ワークショップ

8

次世代への文化の継承、担い手の育成について

川崎市

次代を担う子どもたちが文化芸術に触れる機会の提供

●ジュニアプロデューサー事業

公募により集まった小学生が、一般的なお仕事体験にとどまらず、自ら考え、異なる意見をまとめていながら、「企画」「運営」「広報」など「コンサートを作る」ことを通じて、自主的な行動力、コミュニケーション能力、人と人、社会との関わりを学ぶ場として開催している。



ジュニアプロデューサー事業

●映像制作授業、ワークショップ

映像制作の企画、撮影、編集などを行うことで、コミュニケーションの大切さや、映像を読み解く力などを身に付けてもらうことを目的として、市内の小学校等で実施する映像制作活動を支援している。



映像制作授業

●夏休み能楽体験・鑑賞教室、こども狂言教室

小・中学生を主な対象に日本の伝統芸能への理解を深め、創造性と豊かな感性を育むことを目的として、日本の伝統芸能「能」を全身で体感する能楽の講座、仕舞、謡、鼓、笛等の実技体験などの夏休み能楽体験・鑑賞教室、狂言の演目を基礎から演じるまでを学ぶこども狂言教室を開催している。



夏休み能楽体験・鑑賞教室

9

次世代への文化の継承、担い手の育成について

川崎市

次世代への伝統芸能・民俗芸能等の文化継承の取組

●乙女文楽継承事業

市内で活動する人形劇団「ひとみ座」が継承している乙女文楽(川崎市地域文化財)の継承者育成を目指し、文化庁伝統文化親子教室や市で実施する各種事業と連携して活動している。

●川崎市地域文化財顕彰制度

地域に根差した豊富な文化財を幅広く顕彰・記録することで、地域で守られ、伝えられてきた文化財に光をあて、その価値を伝える(平成29年度に制度創設)。毎年4~6月に地域の活動団体から推薦募集しており、現在までに213件を決定している。



ひとみ座乙女文楽(川崎市地域文化財)

担い手の育成に資する取組

●文化財ボランティアの育成・確保

文化財の保存・活用の担い手として、市教育委員会が実施する講習の受講者を文化財ボランティアとして登録。文化財の現地公開事業での文化財解説や、石造物調査等で活動している。



文化財ボランティアによる石造物調査

学校等に芸術家や専門家を派遣する事業の実施

●出前授業

学校の要請を受け、学芸員を講師として、地域の歴史や身近な文化財について、出土した土器や石器を利用して学ぶ出前授業を実施。児童生徒に地域への理解や愛着を深めてもらう。



縄文土器を使った出前事業

10

次世代への文化の継承、担い手の育成について 横浜市

伝統文化の普及に向けた文化施設での取組

● 横浜能楽堂の「こども狂言ワークショップ」

小・中学生を対象とした、狂言の公演鑑賞と実技を組み合わせたワークショップや、教員を対象とした狂言講座を開催。

◆令和4年度実績 子ども向け：公演1日、実技延べ13日間、参加者27名
教員向け：1日、参加者87名

● 久良岐能舞台の子ども向け狂言鑑賞教室、能楽講座

近隣小学校と連携した狂言鑑賞教室や、4歳から参加できる能楽講座を開催。

◆令和4年度実績 小学校向け：延べ3日間、参加9校 4歳からの能楽：1日、参加者9名

● 横浜にぎわい座の「こども寄席」

春休み・夏休み特別企画として、落語をはじめ、幅広い演目や色物を親子で楽しめる「こども寄席」を開催。

◆令和4年度実績 2公演、来場者320名



久良岐能舞台「4歳からの能楽」



芸術文化教育プログラム推進事業

学校における伝統文化の体験機会の提供

● 芸術文化教育プログラム推進事業

市内小・中・特別支援学校にアーティストを派遣し、

子どもたちが音楽・演劇・ダンス・美術・伝統芸能等の体験ができる教育プログラムを実施。

◆令和4年度実績 参加143校中、伝統芸能(和楽器、能・狂言、落語、民謡等)を48校で実施

11

次世代への文化の継承、担い手の育成について 相模原市

地域文化教育事業の実施

● 総合写真祭フォトシティさがみはら 子ども写真教室

フォトシティさがみはら実行委員会に所属する写真愛好家が講師となり、小学生を対象に撮影実習や撮影写真に対する講評会を実施。(撮影写真は公共施設で展示)

● 学校訪問授業(音楽)

市にゆかりのあるプロの音楽家が学校を訪問し、楽器の仕組みや歴史等について学習するとともに、生演奏を通じてクラシックに親しみ音楽の素晴らしさを体感する授業を実施。



子ども写真教室の実施風景

地域特性を踏まえた次代の文化芸術を担う人への支援

● SUPER OPEN STUDIO(スーパーオープンスタジオ)

美術系大学が集積する本市及び近隣地域において、卒業生たちが工場や倉庫等をリノベーションし、アーティスト活動を展開しているスタジオ(制作場所)を一斉公開する。参加者とアーティスト相互の交流を促進するとともに、アーティストの活動を周知するため、スタジオ間を巡るバスツアーやワークショップ等を実施。



SUPER OPEN STUDIO実施風景

12

次世代への文化の継承、担い手の育成について

相模原市

あらゆる人々が文化芸術活動に触れるために

- 障害のある人や外国籍の人も多様な文化芸術活動を実施



障害のある方の創作活動
「パラスポーツ体験会会場の装飾づくり」



外国籍の方が日本文化に触れる事業
「日本文化体験(茶道)」

あらゆる人々への
文化芸術活動の普及
▼
文化の振興、継承へ

13

次世代への文化の継承、担い手の育成について

新潟市

子どもの文化芸術の鑑賞・体験機会の創出

- **子どものための芸術文化体験事業「オーケストラはキミのともだち」**
日頃、芸術文化に接する機会の少ない子どもたちに鑑賞・体験機会を提供し、クラシック音楽への興味・関心を広げてもらう。
演奏会
初めてクラシック音楽を聴く子どもたちにも楽しめるプログラム内容とし、迫力あるプロオーケストラコンサートを本格的なコンサートホールで体験。
学校訪問(アウトリーチ)
プロの演奏家が学校を訪問し、質の高い演奏を間近で体験。
- **子ども向け文化プログラム体験事業**
市の文化や歴史・その関連施設を次世代を担う子どもたちに知ってもらい、様々な発見をすることで、文化や歴史への興味・関心を醸成し、将来的な文化芸術の継承、担い手育成を図る。マンガ家、蒔絵、芸妓、生け花、和太鼓などの体験プログラムを実施。
- **美術館教育普及事業(アートリップ)**
市内の小・中・高等・特別支援学校を対象に、美術館学芸員による学校への出張授業と美術館での鑑賞を組み合わせたプログラムを実施。子どもたちが美術に触れながら想像力と感受性を養うことを目指す。



演奏会



学校訪問



美術館での対話型鑑賞

14

次世代への文化の継承、担い手の育成について

新潟市

地域に根差した文化の保存・継承

地域に根差した文化を活かした事業の実施により、伝統文化の保存・継承、体験機会の提供、地域への誇りや愛着の醸成を図る。

- **みなとまち新潟 伝統的産業PR事業**

伝統的産品である「新潟漆器」や、新潟港の繁栄を象徴する「古町芸妓」について、飲食店等への漆器の貸出や芸妓のPRなどにより、次世代への普及促進を図る。

- **国登録有形文化財を活用した文化発信事業**

新潟県下最大級の豪農の館を舞台に、地域が誇る伝統・文化に触れる機会を提供し、地域に対する愛着の向上を図る。

- **各区で活動する団体等との連携による文化発信**

各区で活動する芸術団体、演劇団体などと連携し、各区の文化や芸術活動の発信を実施。



古町芸妓のPR



豪農伊藤家伝来の3人餅つき体験
(豪農の館「北方文化博物館」にて)



東区歴史文化プロジェクト
市民劇団 演劇公演



西区アートフェスティバル

15

次世代への文化の継承、担い手の育成について

静岡市

無形民俗文化財の担い手の育成事業への支援

国県市指定の無形民俗文化財の保存団体が実施する後継者養成事業に対して補助金を交付する。

- **草薙神社龍勢花火(県指定)**

保存会員が小学生に、落下傘(花火の仕掛け)の製作や花火打ち上げ前の呼び出しの指導を行う。また、小学校で草薙神社龍勢花火の歴史に関する授業を行う。

- **由比のお太鼓祭(県指定)**

保存会員がこども会員に指導し、祭りで「子ども太鼓」などを披露する。

- **親王囃(市指定)**

保存会員が少年部のこどもに囃子などを指導し、祭りで披露する。

* そのほかの保存団体でも、地元のこどもに向けた神楽等の練習会を行っている。

無形民俗文化財の担い手育成のためのイベント開催

- **大神楽祭**

神楽の保存団体が一堂に会し、それぞれの舞を披露する本市主催のイベント。団体によって、こどもが参加する演目もある。コロナでの中断があったものの、令和5年度で6回目の開催。令和4年度の来場者数は2,000人。



草薙神社龍勢花火



落下傘製作の様子
(草薙神社龍勢花火)



太鼓の練習会の様子
(由比のお太鼓祭)

16

次世代への文化の継承、担い手の育成について

静岡市

子どもの鑑賞・発表・体験機会の充実

●学校・こども園訪問コンサート

市内の小中学校やこども園等を対象に、プロの音楽家が訪問し、子どもたちがオーケストラやアンサンブルの生演奏を体感できる機会を提供する。

●文化芸術アウトリーチプログラム

フリースクールや放課後子ども教室等を対象に、箏や太鼓等の演奏家や演劇ユニット、大道芸人等が訪問し、子どもたちのおかれた環境にかかわらず、気軽に伝統文化や地域文化に触れる機会を提供する。

●こども将棋大会

徳川家康公が大御所時代、駿府城で将棋名人制度を創設したと言われている「将棋」をきっかけとし、地域の文化資源への愛着の醸成を図るとともに、将棋大会で同年代の子どもたちと競い合うことにより、日頃の鍛錬の成果を発表する機会を提供する。



こども園訪問コンサート



文化芸術アウトリーチプログラム(大道芸)



こども将棋大会

次世代への文化の継承、担い手の育成について

浜松市

地域の文化遺産の継承

●市民団体と学校の連携による次世代への無形民俗文化財継承支援事業

無形民俗文化財保護団体と学校・地域との連携により、児童・生徒・学生及び社会人への学習の機会を提供。

●文化財サポーター事業

文化財に興味を持ち、自らの意思で活動できる人材を広く募集し、講座等を通じて知識・技能のレベル向上を図るとともに、文化財保存活用事業への支援を促す。

浜松吹奏楽大会の実施

●全日本高等学校選抜吹奏楽大会

日本高等学校吹奏楽連盟各支部より選抜された高校吹奏楽部おおよそ16校が出演。また、市内小中学校での交流練習会、JR浜松駅前でのブロードコンサートなどを通じて、出演者相互、浜松市民との交流を行う。
(令和5年度:第36回)

●全国中学生交流コンサート

全国の吹奏楽団体2団体、市内中学校2団体による交流コンサートを行い出演者が相互及び浜松市民との交流を行う。
(令和5年度:第12回)



無形民俗文化財継承支援事業
(川名ひよどり保存会と小学校との連携による校外授業)



文化財サポーター事業
(歴史文化学習会)



次世代への文化の継承、担い手の育成について

浜松市

アクトシティ音楽院事業

● アカデミーコース

世界で活躍することができる管楽器奏者を育成する「浜松国際管楽器アカデミー&フェスティバル」、世界的なプロピアニストを育成する「浜松国際ピアノアカデミー」などを実施。

● コミュニティコース

市民が気軽に参加・体験できる講座などを開催。コンサートを主催できる人材を育成する「主催者育成セミナー」、浜松市内の小・中学生を対象に、演奏する楽しさを体感することを目的とした「子ども音楽セミナー」などを実施。



管楽器再生・活用事業

● 管楽器再生・活用

近年、音楽部活動に取り組む小学校が減少し、使用されていない管楽器が増加。市内小学校の使用されていない楽器の状態を確認し、再生可能な楽器は地域企業と市が協力し、修理・再生する。再生した楽器は、個人及び音楽団体等に貸し出す。

19

次世代への文化の継承、担い手の育成について

名古屋市

「グローバル人材を育む和室活用事業」の実施

● 我が国・本市の伝統文化や歴史を学ぶ機会の充実

教科や総合的な学習の時間などを通して、我が国の伝統文化や歴史などに興味・関心をもち、「組み立て式和室」を活用しながら体験的に学ぶ。

● 子どもたちのアイデンティティの基礎となる郷土への愛着や誇りの育成

特別活動におけるクラブ活動や、部活動などの時間に、茶道や華道、和楽器、将棋、囲碁といった日本の伝統文化や遊びにふれ、そのよさや楽しさを味わう。



音楽科 和楽器の学習の様子



茶道クラブの活動の様子

20

次世代への文化の継承、担い手の育成について

名古屋市 (公益財団法人名古屋市文化振興事業団 実施事業)

名古屋市文化芸術振興計画2025

「名古屋市文化振興計画2020」の基本的な考え方を踏襲しながら、名古屋の文化芸術の底上げとすそ野を拡大し、より一層名古屋の文化芸術を推進していくために策定。

「文化芸術が活(い)きるまち・芸どころ名古屋 文化芸術の灯を守り輝かせ、豊かな未来を創造する」ことを基本理念とし、幅広い市民が文化芸術に親しみ、文化芸術活動や文化・歴史資源を磨き、しっかりとした推進体制や文化施設がそれらを支え、文化芸術をまちづくりに活かしていく取り組みを積極的に進めていく。

劇場での文化芸術鑑賞事業

● 子どものための巡回劇場

次代を担う子どもたちを対象に、身近な場所で人形劇、児童劇、管弦楽、バレエ、伝統芸能などを気軽に楽しんでもらうために、各区の劇場等を巡回する公演を実施



子どもアートピア

参加・体験事業

● 子どもアートピア

子ども向け参加体験イベントとして、名古屋を中心に活動するアーティストや文化芸術団体による公演やワークショップを通じて、子どもたちが文化芸術に興味を持つきっかけをつくる

次世代への文化の継承、担い手の育成について

京都市

学校等において文化芸術に触れる授業の実施

● 伝統文化体験事業(茶道・華道)

全市立小学校では茶道を、全市立中学校では華道を授業の一環で実施。全ての児童生徒が在学中に1度は華道・茶道を体験する。

● 文化芸術授業「ようこそアーティスト」

京都で活躍する多様な分野の一流芸術家が講師となり、市内の小・中学校や保育所等でワークショップ等を実施。年間約70箇所を実施、延べ約4,000人の子どもが参加



ようこそアーティストの実施風景

京都の文化芸術資源を活かした体験事業の実施

● 伝統公演授業「ようこそ和の空間」

中学生を対象に能楽堂など本格的な舞台上で伝統芸能の魅力に触れる公演鑑賞を実施。年間延べ約1,500人の子どもが参加

● 「京の生活文化普及啓発事業」

小・中学生親子を対象に、京料理や京の菓子文化、花街のおもてなし文化等を体験できる機会を創出。年間延べ約1,500人が参加。

次世代への文化の継承、担い手の育成について 大阪市

第一級の芸術にふれる機会の充実

- **青少年のための文楽鑑賞教室、夏休み文楽特別公演優待鑑賞事業**
大阪が誇る「人形浄瑠璃文楽」について、青少年が身近に親しめるような鑑賞機会を提供し、大阪を代表する芸術文化を体験できる機会を創出。年間約3,700名が参加
- **青少年のための歌舞伎鑑賞授業**
国の重要無形文化財、ユネスコ無形文化遺産である「歌舞伎」を、青少年が身近に親しめるよう、公演鑑賞を実施。年間約270名が参加
- **伝統芸能(上方芸能・能狂言)鑑賞会**
様々な伝統芸能を身近に親しめるよう、鑑賞機会を提供するとともに、浪曲、講談、落語、上方舞などの上方を代表する伝統芸能や能楽に触れることのできる機会の充実を図ることを目的に実施。年間約1,000名が参加



伝統芸能鑑賞会の実施風景

23

次世代への文化の継承、担い手の育成について 堺市

次世代への文化の継承

- **さかいミーツアート**
音楽、造形など多様な分野の芸術家を市内の小中学校に派遣し、文化芸術の鑑賞・体験機会を充実させることにより、次世代を担う子どもたちの豊かな心と感性を育む(R5実施予定数:12校)。
- **アートスタートプログラム**
未就学児を対象に、アーティストと触れ合いながら音楽や美術等の芸術を体験するプログラムを通じ、自らが感じたことやイメージを言葉や作品で表現することによって、表現する感性や表現力を養い、豊かな創造性を育む(R5実施予定数:18施設)。
- **子ども食堂における芸術家派遣事業**
子ども食堂にアーティストを派遣し、音楽・造形・身体表現など幅広い文化芸術プログラムを実施することにより、次代を担う子どもたちが身近に文化芸術に触れる機会を提供し、子ども食堂の持つ居場所機能を強化する(R5実施予定数:3食堂)。



小学校で演奏するアーティスト



子ども食堂でのワークショップ

※ 上記事業については、(公財)堺市文化振興財団が本市補助金にて実施

24

次世代への文化の継承、担い手の育成について

堺市

次世代への文化の継承

● 阪田三吉名人杯将棋大会

- ・明治から昭和初期にかけて活躍した阪田三吉名人を顕彰し、地域文化の活性化、都市イメージの向上を図ることを目的に、全国のアマチュア棋士を対象に将棋大会を開催する。
 - ・募集人数(R5) A級～F級 各級64人(合計384人)
- ※E級は中学生以下かつ6級以下、F級は小学校4年生以下かつ6級以下



決勝戦の様子

担い手の育成について

● 堺市新進アーティストバンク

- 地域や社会とのつながり、ワークショップ・アウトリーチ等の様々な企画を提案・実施できるアーティストの育成をめざして、アーティストバンク登録者に向けた、事業の出演・講師依頼、各種研修プログラムの提供及び堺市内における出演・講師依頼のマッチングを行う。



研修プログラムを受講するアーティスト

次世代への文化の継承、担い手の育成について

神戸市

文化・芸術の継承

● 神戸歴史遺産の創設

- 地域で大切にしてきた伝統行事、地域のよりどころの建造物などを認定(2021年度～)。継承のための事業などに、ふるさと納税を通じて寄附を募り、寄付額の最大同額を合わせて補助。

● 茅葺建物の保存活用

- 市所有の茅葺建物の管理・公開を地域団体・NPOに委託し、生活体験や落語会などの各種イベントを開催。また、茅葺建物に必要な茅の育成にも取り組んでいる。

● 地域の伝統文化・芸能・地域行事の保存継承

- 市が指定(1件)・登録(20件)・認定(3件)する無形民俗文化財の保存や継承行事(8件)に対する助成。



湯女を起源とする有馬芸妓文化(神戸歴史遺産)



こども歌舞伎上演会

次世代の文化芸術の担い手の育成

● 農村歌舞伎の担い手の育成

- 農村歌舞伎舞台を活用して、農村歌舞伎体験教室や子ども歌舞伎を実施する団体を支援し、小学校等のアウトリーチや、事前稽古を経て、農村歌舞伎舞台やステージでの上演会を実施。

● 若手ジャズ奏者の育成

- 日本ジャズ発祥の地として、小・中・高生によるジャズバンドを結成。プロミュージシャンなどの指導のもと技術を磨き、神戸市内を中心とした地域イベントで「ジャズの街神戸」のPRを実施。

2023年度登録生徒数(小学生1名、中学生4名、高校生10名)



ジャズバンド「KOBE YOUTH JAZZ ORCHESTRA」

次世代への文化の継承、担い手の育成について 神戸市

伝統文化を体験する機会の創出

● 伝統文化親子教室の実施

日本の伝統文化への理解や親しみ・興味・関心を親子で高められるよう、小中学生を対象に、「書道」「茶道」「いけばな」「和太鼓」の伝統文化を無料で気軽に体験できる出前事業や短期講座を実施。

● 各区文化センターにおける体験会の開催

各区文化センターにおいて「書道」「茶道」「いけばな」「一弦琴」「農村歌舞伎」などの各種伝統文化体験会を開催。

● 茅葺・檜皮葺の見学会・体験会の開催

大規模修繕が行われる際に、市民に対して、見学会の開催や葺き替えの模擬体験会を開催。

学校等において優れた文化芸術に触れる機会の提供

● プロの楽団によるアウトリーチ

神戸市内管弦楽団・神戸市混声合唱団等が地元の音楽家と連携し、市内全小学校へ出張演奏を実施。市内小学生を神戸文化ホールでの公演に招待する「インリーチ事業」も同時に実施。

● 中学校へのジャズアーティストの派遣

日本初のプロジャズバンド誕生の地として、子どもたちにジャズを身近に感じてもらうため、市内中学校にプロのジャズアーティストを派遣し、演奏会を開催。



伝統文化親子教室



葺き替えの模擬体験



小学校へ出張演奏（アウトリーチ）

27

次世代への文化の継承、担い手の育成について

岡山市

岡山市文化芸術推進計画(2022～2026)

基本方針のテーマ：「魅せる」「親しむ」「集う」「支える」「創る」「育む」「繋ぐ」

- 育む【育成事業】文化芸術を担う想像力豊かな人材の育成
- 繋ぐ【継承事業】地域の連携と、歴史文化資源の保存・継承・活用

青少年育成事業・担い手育成事業

● 岡山市小・中学校音楽鑑賞教室(岡山シンフォニーホール)

岡山フィルハーモニック管弦楽団による小・中学生を対象としたホールコンサート(令和4年度 1日2公演 参加者数1,284人)
その他、岡山フィルハーモニック管弦楽団(アンサンブル)が学校を訪問して行う公演などを実施

● 岡山市ジュニアオーケストラ、岡山市ジュニア合唱教室などの運営

岡山芸術創造劇場 ハレノワ プレ事業

令和5年9月に開館する岡山芸術創造劇場では、「未来にはばたく子どもたちを育てる」を事業目標のひとつとしており、国内外で活躍する劇作家や演出家とともに高校生が舞台を作り上げる「つくるハイスクール演劇!!」や、新しい劇場でダンサー、振付師、演出家などと一緒に踊ったり作ったりして自由に遊び、施設に親しんでもらうワークショップなどの事業を展開しています。

- 小学校アウトリーチ事業「アーティストとであう」 講師：演劇・ダンスを専門として創作活動を行うアーティスト
- 就学前・小学校連携研修講座 対象：保育教諭や小学校教諭など、講師：劇作家・演出家
- 舞台芸術体験ワークショップ(ハレルワークショップ)

「日本舞踊であそぼう！」 対象：小学3～6年生とその保護者、講師：花柳大日翠(岡山県出身の日本舞踊家)
その他、戯曲講座、ダンスワークショップ、演劇などを実施

(公益財団法人 岡山文化芸術創造 主催事業)



岡山芸術創造劇場 ハレノワ

28

次世代への文化の継承、担い手の育成について

岡山市

「岡山芸術交流2022」パブリックプログラム

- ・ 県内小・中学校、高等学校等から104校 7,255人が来場し、現代アートを鑑賞
- ・ 学校鑑賞を促すために1台5万円を上限にバス代を支援
- ・ 会場では希望する学校に「対話型鑑賞」を実施



校庭



プール



第一展示室



教室



体育館



天神山文化プラザ



オリエント美術館

旧山下小学校



岡山芸術交流実行委員会

岡山市・岡山市教育委員会、岡山県、
(公財)石川文化振興財団ほか

会長：大森 雅夫（岡山市長）

副会長：横田 有次（岡山県副知事）

松田 久（岡山商工会議所会頭）

© Okayama Art Summit 2022 Executive committee

29

次世代への文化の継承、担い手の育成について

広島市

音楽分野の担い手育成の取組

- **ジュニアウインドオーケストラ広島プロジェクト**
広島広域都市圏内(※)の中高生を対象に、プロの音楽家から楽器奏法や音楽理論等を学ぶ音楽教育プログラムを実施し、将来、国内外で活躍する音楽家や指導者の育成を図っている。
- **威風堂々クラシック in Hiroshima**
広島市出身の世界的指揮者である大植英次氏がプロデューサーとなり、素晴らしい才能を持つ地元若手演奏家の育成と発表の場を提供している。
- **プロ音楽家による出前音楽授業**
広島広域都市圏内(※)の小学校に広島交響楽団の楽団員を派遣し、クラシック作品を中心とした名曲の演奏会や児童の演奏体験等を行い、将来の担い手である子供たちが音楽に親しむ機会を提供している。

※ 広島広域都市圏は、広島市、呉市、竹原市、三原市、三次市、大竹市、東広島市、廿日市市、安芸高田市、江田島市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸太田町、北広島町、大崎上島町、世羅町、岩国市、柳井市、周防大島町、和木町、上関町、田布施町、平生町、浜田市、美郷町、邑南町で構成している。



ジュニアウインドオーケストラ広島



威風堂々クラシック in Hiroshima



プロ音楽家による出前音楽授業

次世代への文化の継承、担い手の育成について

広島市

メディア芸術分野の担い手育成の取組

- **街かどアニメーション教室(令和4年度実績)**
海外のアニメーション作家を講師として、市民がアニメーション制作に携わる教室を実施した。
- **メディア芸術エデュケーション(令和4年度実績)**
 - ・ **ぴかぴかアート教室**
比治山大学短期大学部美術科、幼児教育科が共同で開発した投影装置を使い、園児が描いた絵をスクリーンに投影する教室を実施した。
 - ・ **アーティストと触れ合う教室**
毎日学校に通えない児童・生徒が、海外のアニメーション作家と交流しながら作品を制作する教室を実施した。
 - ・ **国語教育×アニメーション**
中学校の国語教育として、アニメーション作品の鑑賞、講義、ディスカッションを行う授業を実施した。
 - ・ **国際交流プログラム**
広島市立基町高等学校とオーストリアボーグ・バート・レオンフェルデン校の高校生が、オンライン上で、互いに制作した作品紹介や意見交換を行う国際交流を実施した。



街かどアニメーション教室



ぴかぴかアート教室



アーティストと触れ合う教室



国際交流プログラム

次世代への文化の継承、担い手の育成について

北九州市

優れた文化芸術と出会う機会の提供

- **市内の全小学3年生が美術館を初めて体験する「ミュージアム・ツアー」の実施**
バスを借り上げ、市内小学3年生全員(約8千人)を美術館へ招待し、授業の一環として、「①美術作品の鑑賞」・「②磯崎新氏設計の建築鑑賞」・「③市内眺望の鑑賞」の機会を提供
◆ 令和4年度実績: 131校・7,280人
- **「アウトリーチ・インリーチ」により小中学生が文化芸術に出会う機会の提供**
地域の文化芸術団体等が小中学校を訪問し、「アウトリーチ」によって、茶道や箏などの伝統文化やクラシック音楽等の文化芸術に触れる機会を提供するとともに、「インリーチ」によって、市内のホールで多様な文化芸術体験プログラムを実施 ◆ 令和4年度実績: 17,313人
- **小学1・2年生が優れた舞台「ニッセイ名作シリーズ」を体験する鑑賞教室の実施**
「日生劇場」と北九州市が共同し、小学1・2年生(28校約3,000名)が優れた舞台である「ニッセイ名作シリーズ」を鑑賞する機会を提供 ◆ 令和4年度実績: 28校・2,830人



↑ミュージアム・ツアー

次世代の文化芸術の担い手の育成

- **合唱の街・北九州の顔として活動する「北九州市少年少女合唱団」**
昭和49年発足。3歳から高校生まで、幅広い年齢の団員約80名と指導員6名が在籍。北九州市の顔として海外公演等の活動もあり、貴重な体験の場となっている(海外公演13回)。市内・近郊の合唱団が集う「北九州少年少女合唱祭」も開催。
- **若き音楽家を育む「北九州市ジュニアオーケストラ」**
昭和56年発足。小学生から高校生までの団員約80名と指導員15名が在籍。東京都交響楽団首席ファゴット奏者である長哲也氏など、プロの演奏家も輩出。

↓北九州市ジュニアオーケストラ



次世代への文化の継承、担い手の育成について

福岡市

「伝統工芸」の担い手の育成に資する事業の実施

- **博多織技能開発養成学校支援事業**
将来の博多織産地を担う人材を養成することを目的としている「博多織技能開発養成学校」への支援。2年間のカリキュラムと1年間の研究課程がある。令和4年度までに15期84人が卒業。
- **博多人形師育成塾**
18歳から45歳を対象とした博多人形の制作過程を体験できる講座を博多人形商工業協同組合と共催で週1回、年間40回の講座を実施。令和4年度までに19期381人が修了。
- **後継者発掘事業**
市ゆかりの県特産民工芸品の後継者発掘講座を実施。令和4年度は「博多張子」を対象した講座を実施し、15名が参加。



博多織技能開発養成学校の様子



博多人形師育成塾の実施の様子



後継者発掘事業の実施の様子

33

次世代への文化の継承、担い手の育成について

福岡市

文化芸術を鑑賞・体験する機会の提供

- **子ども文化芸術事業(小学校へのアーティスト派遣「アーティストとであう」)**
子どもたちが小学校等で文化芸術を鑑賞・体験できる機会を創出し、文化芸術の魅力伝えるため、国内外で活躍しているアーティストを小学校へ派遣し、音楽、ダンス、演劇、日本伝統文化、国際文化の体験型プログラムを実施。令和4年度は63校で実施。



子ども文化芸術事業の様子

地域文化に関する教育の実施

- **院内学級へ向けたオンライン出前学習**
来館や対面での出前学習が困難な院内学級や離島の小中学校を対象に、オンラインによる体験学習を提供。令和4年度は院内学級に向けて、館内施設や展示室を巡る博物館見学ツアーを実施。



オンライン出前学習の風景

34

次世代への文化の継承、担い手の育成について

熊本市

文化顧問の活用による文化芸術人材育成への取組

- 暮らしと文化芸術を結びつけ、政策立案に活用し、市民が身近に文化芸術に親しめるまちづくりを進めるために、R5年度より文化顧問に日比野克彦氏を迎え、市職員対象の研修を開始。
- 7月には、市職員を対象に熊本城内で肥後六花のひとつである肥後朝顔についてのワークショップを実施。
かつては細川家門外不出、今は熊本城管理部門の市職員が引き継ぐ、250年の伝統と人々の思いを日比野克彦氏とともに学んだ。



日比野克彦氏
東京藝術大学学長
熊本市現代美術館館長



熊本城でのワークショップの様子
手を動かし五感で感じることで、伝統を知るだけでなく、アートの視点でテーマをとらえるワークショップを実施

地域の文化資源の認定制度

- 地域で継承されてきた貴重な文化資源のうち、地域での保存(概ね50年以上)・継承等の活動が伴うもの(概ね20年以上)を本市独自の「郷土文化財」として認定し、後世への継承とまちづくりへの活用を目指す。(R3年1月制度運用開始)
- 国等の文化財としては指定されてはいないが大切にされてきた地域の宝を将来に残すための自治体独自の取組であり、今後の安定的な財源確保が重要な課題。



肥後朝顔
【郷土文化財】
近津鹿島宮火の神祭り
燃え盛る枝を投げ合う激しい祭りは一見の価値あり

次世代への文化の継承、担い手の育成について

熊本市

記念館等文化財の教育、地域づくり及び観光振興等への活用

○熊本地震から復旧した各記念館の再開と更なる活用

- 平成28年熊本地震では、多くの記念館等の文化財が倒壊するなどの被害を受けたが、歴史資料や古写真等をもとに、部材等も可能な限り再利用しながら、より史実に近い状態に復旧・復元することができた。
- 今後は、復旧した記念館を保存するだけでなく、様々な活用を図っていくことが求められており、特に県指定文化財「熊本洋学校教師ジェーンズ邸」や国指定史跡「熊本藩川尻米蔵跡」については、まちづくり、地域活性化や観光振興にも活用していく。
- また、地元の偉人や歴史的建造物を顕彰し、未来を担う子どもたちに郷土愛の醸成や豊かな人間性の形成等を図る取り組みとして、タブレット端末を利用したスタンプラリーを行う。



「熊本洋学校教師ジェーンズ邸」
令和5年9月1日オープン



熊本洋学校教師ジェーンズ邸
オープニングイベントの様子



「熊本藩川尻米蔵」
令和5年10月21日オープン